

点描ぐんま経済

日銀支店長
見聞録

■79■

仕事柄、皆さんの前でお話する機会が多い。最初の頃は世界経済や日本経済の話、日本銀行の業務や政策についてお話をすることが多かった。

群馬県の方々には温かいので、こうした話も興味を持って聞いてくださる。だが、一番興味を持つて聞いていただけののは、群馬県経済についてだ。お話しした後に一番多く感想が寄せられるのも、群馬県経済の話だ。こうしたところにも群馬県の方の「郷土愛」の強さを感じる。これは、赴任する前に感じたことと一つも変わらな

県民性が経済貢献

情報、連携オープンに

群馬県経済に関して、どのような話をするのか。まず、1人当たり県民所得と県内総生産について、リーマン・ショック直後の2

009年度から最新データの16年度までの伸び率をみる。そうすると、47都道府県別での群馬県の伸び率は、1人当たり県民所得が5位で、県内総生産が8位なのだ。これは、群馬県は製造業のウエー

トが高いため、海外経済の好調をうまく取り入れたことが主因とみている。

こうした群馬県経済も少し詳しく書くのは好調さの背景については、東京という巨大マーケットに近く、交通・物流網が整備され、第1次産業、第2次産業、第3次産業のいずれもが発展しているということが、すぐ

に挙げられると思う。もっとも、それだけであろうか。いろいろ

な人とお話しすると、それ以外でも①同じ業界で綿密に情報交換②産・官・学・金が緊密に連携③新しいビジネスにチャレンジという強みも感じられる。

の企業のビジネスチャンス

の拡大につながっていると思う。また、さまざまな経済界の会合にお邪魔する機会が多く、会合の種類によっても違っ

た！

こうした特徴を持つているのも、やはり群馬



岡山和裕（おかやま・かずひろ） 1969年

7月生まれ。兵庫県出身。東京大学法学部卒。92年日本銀行に入り、業務局統括課長、決済機構局業務継続企画課長、情報サービス局総務課長などを